

# 大野一心

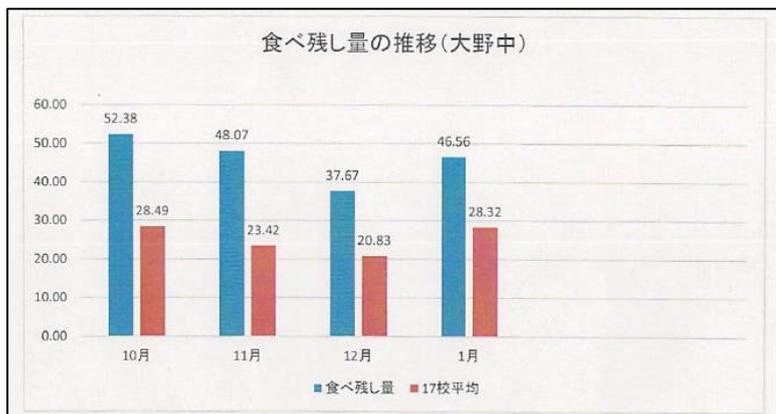
NO.25

令和4年2月10日(木) 文責：校長 諸熊 修一

## 給食週間の取組

1月24日(月)～30日(日)は、全国学校給食週間でした。私が中学生の頃は、給食が実施されていなくて、母親の手作り弁当を持参していました。時には、通学途中にあるパン屋さんでパンを買ったり、購買部でパンを注文したりして、自分のお気に入りのパンを食べていた頃を懐かしく思い出します。

佐世保市では平成26年9月に佐世保市中学校給食センターが開設されて、市内すべての小中学校で給食が始まりました。右上のグラフは、市内17校平均(右の棒グラフ)と本校(左の棒グラフ)における給食の食べ残し量の比較のグラフです。他校の平均と比べて毎月多くの残菜があることが分かります。



本校では、給食週間の取組として、1月24日(月)に校内放送を使って給食委員長が給食の歴史や意義、今後の取組などについて話をしてくれました。更に、2月9日(水)の朝の時間を使って、全学級で栄養士からの動画視聴を行いました。視聴後には各学級でアンケートを取って集計を行い、今後の給食部の活動に生かしていきます。また、給食に関わるメッセージを書き、日頃お世話になっている配膳員さんや給食センターの方々に見ていただく予定です。

この機会に御家庭でも給食の思い出や食べ物の大切さ、飢えに苦しむ人々などについて話し合ってみてはいかがでしょうか。



### 【2月の配膳表から】

#### 24日(木)「せとか」

せとかは長崎県で生まれた品種で、酸味が少なく甘み強いことが特徴です。育成地である口之津町から見える早崎瀬戸にちなみ、また瀬戸内地方での栽培が期待されることや良い香りがすることから「せとか」という名前が付けました。

